

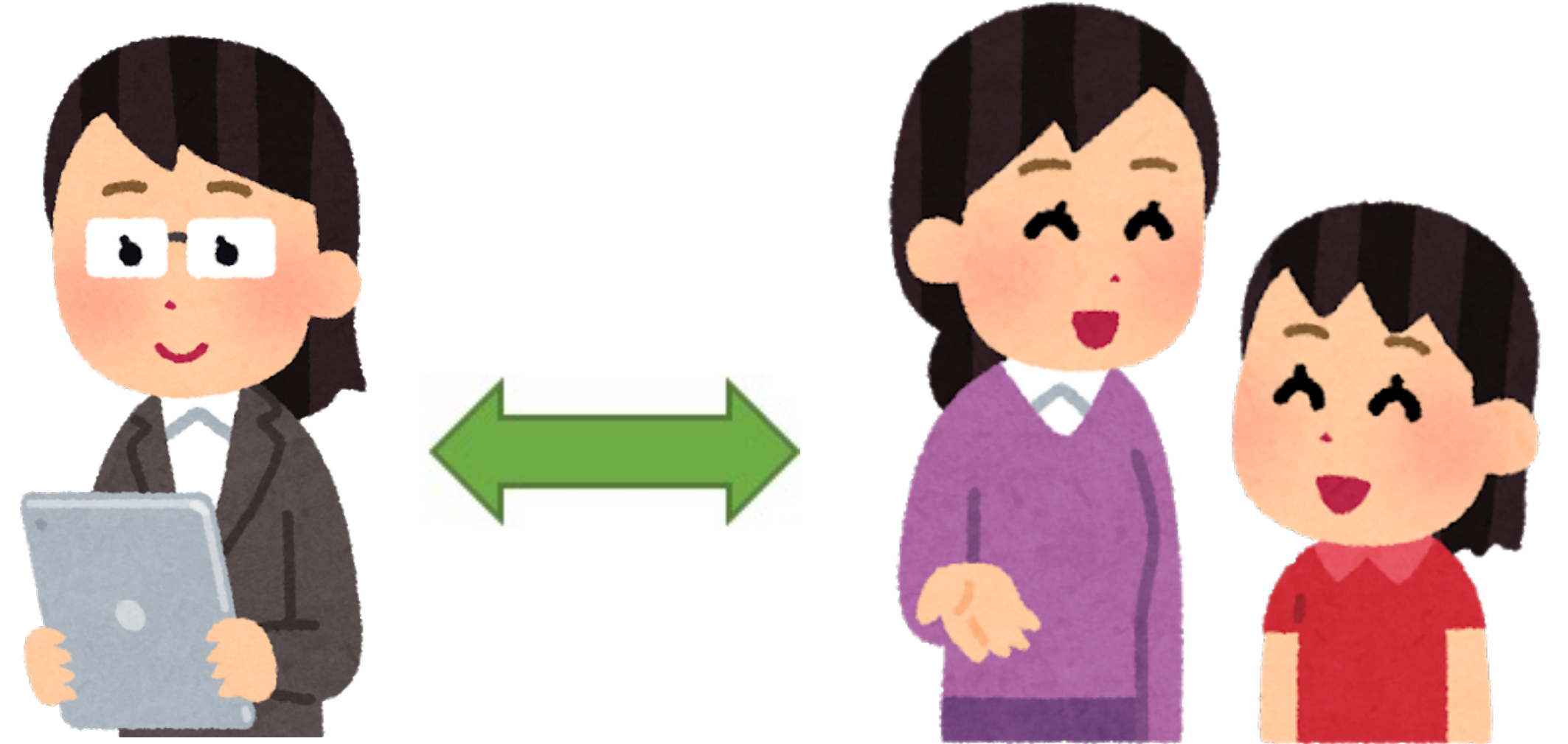
オンライン授業のスムーズステップ（例） 「ロイロノート」を基本として

	昼間以外の時間に保護者と一緒にスマートフォン・タブレット・PC等を使用する場合	昼間保護者と一緒にスマートフォン・タブレット・PC等を使用する場合	昼間子どもが自分のスマートフォン・タブレット・PC等を使用する場合	昼間保護者と一緒にWiFi接続可能なスマートフォン・タブレット・PC等を使用する場合	昼間子どもがWiFi接続可能なスマートフォン・タブレット・PC等（学校用 iPadを含む）を使用する場合
<u>ステップ1</u>					
		<ul style="list-style-type: none"> 健康観察のカード（健康状態やメッセージ）を先生と交換する。 学校と家庭の連絡手段としてカードでメッセージを送る。 			(共通)
<u>ステップ2</u>		<ul style="list-style-type: none"> 健康観察のカード（健康状態やメッセージ）を先生と交換する。 写真カードを送る。 			(共通)
<u>ステップ3</u>	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察に加え、学習課題やプリントをカードで送り、取り組んだものを保護者と一緒に提出する。 写真カードを送る。 		<ul style="list-style-type: none"> 健康観察に加え、学習課題やプリントをカードで送り、取り組んだものを自分で提出する。 写真カードを送る。 		
<u>ステップ4</u>					<ul style="list-style-type: none"> 決められた時間にカードや写真で学習の成果物を提出する。 子ども同士がカード送り合い、学び合う。
<u>ステップ5</u>					<ul style="list-style-type: none"> 決められた時間にカードや写真や動画で学習の成果物を提出する。 子ども同士がカード送り合ったり、zoomでビデオ会議をしたりしながら学び合う。

ステップ1 健康観察と連絡手段

ロイロノートで文字（カード）によるやり取りができる

- ・保護者のスマートフォン・タブレット・PC等を使って実施。
 - ・朝から親子で健康観察用のロイロノートカードを担任に送る。
 - ・担任はそのカードにメッセージを書いて返す。
- 小学校の低学年でも家庭との連絡が可能、親子でする事で保護者の安心にもつながる。



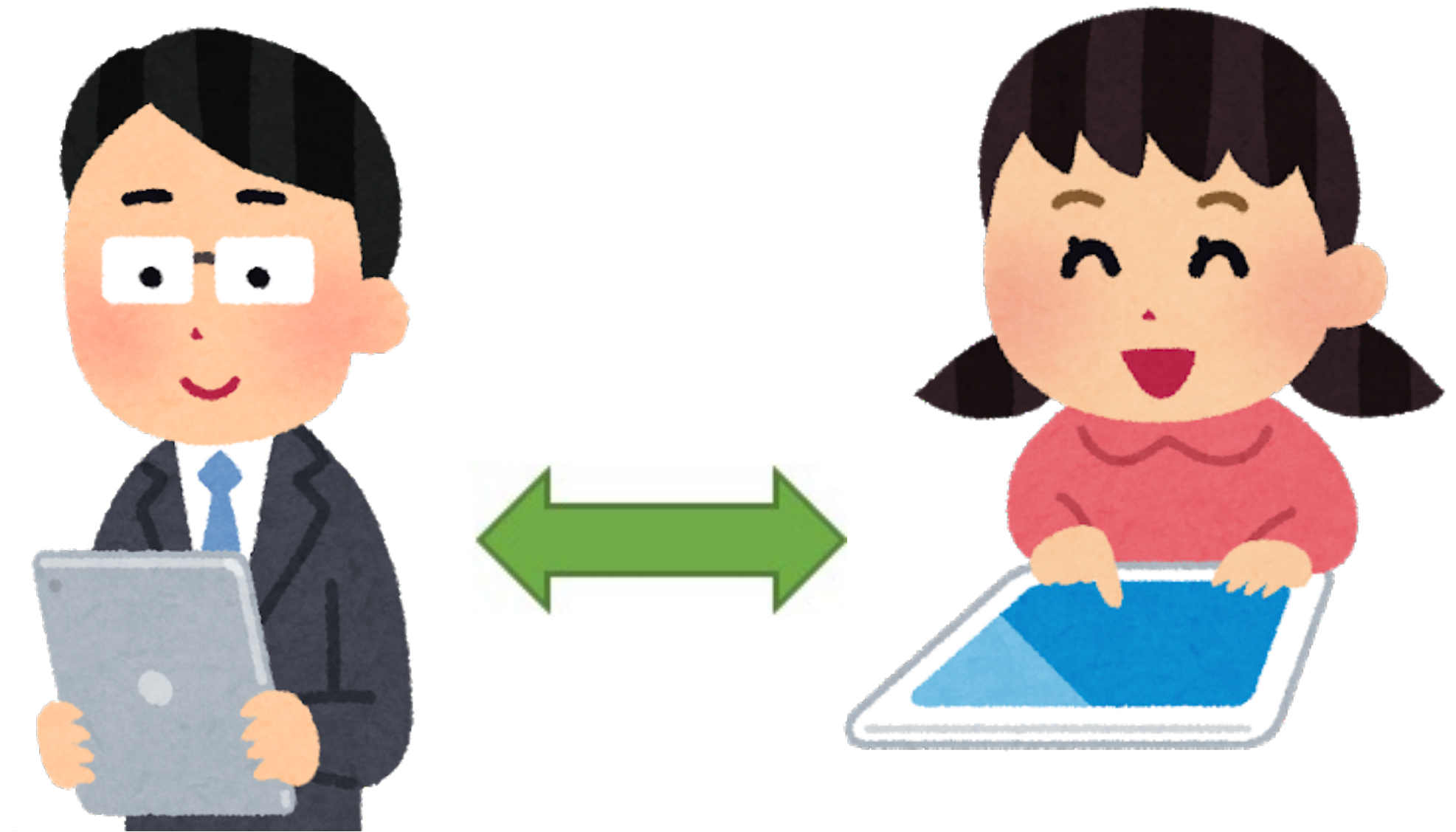
戻る

ステップ2 健康観察とカードや写真の交換

ロイロノートで文字（カード）だけでなく写真等によるやり取りができる

- ・ 昼間、保護者と一緒にスマートフォン・タブレット・PC等を使って実施。
- ・ 朝から健康観察用のロイロノートカードを担当に送る。
- ・ 担当はそのカードにメッセージを書いて返す。
 - 決まった時間にやりとりをすることができる。
 - 返信はいつでも可能。

※テキストカードや写真カードでのやりとりを想定。（日記や家庭での様子など）

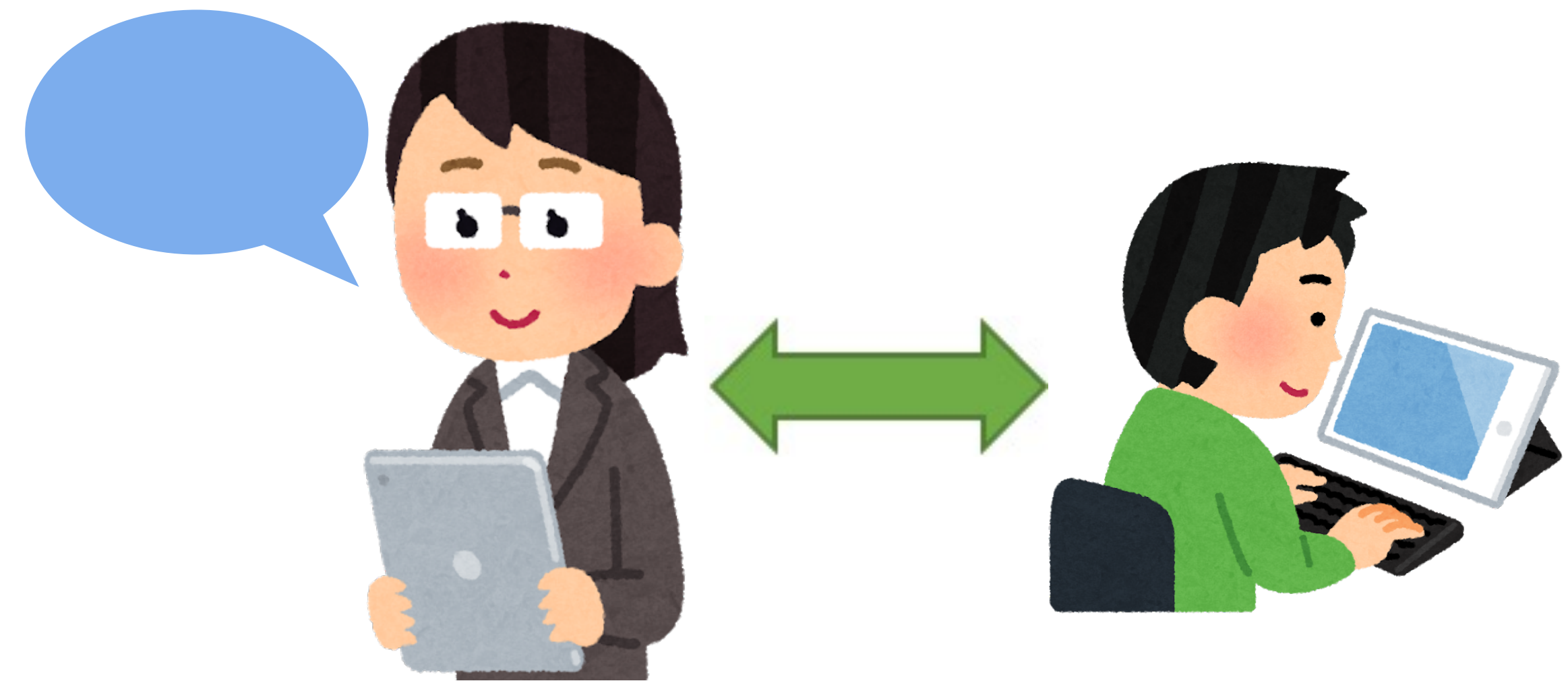


戻る

ステップ3 学習課題の提出

ロイロノート等を使って、教師からの課題の提示、子どもから学習したものの提出ができる

- ・健康観察に加え、課題をプリントやカードで提示
- ・学習したことをスマートフォン・タブレット・PC等を使ってロイロノートに提出。
- ・その日に学習したものは、ノートやワークシートに書いたものを写真で撮って提出することもできる。
- ・教師は、提出されたものを後で添削して子どもに返す。

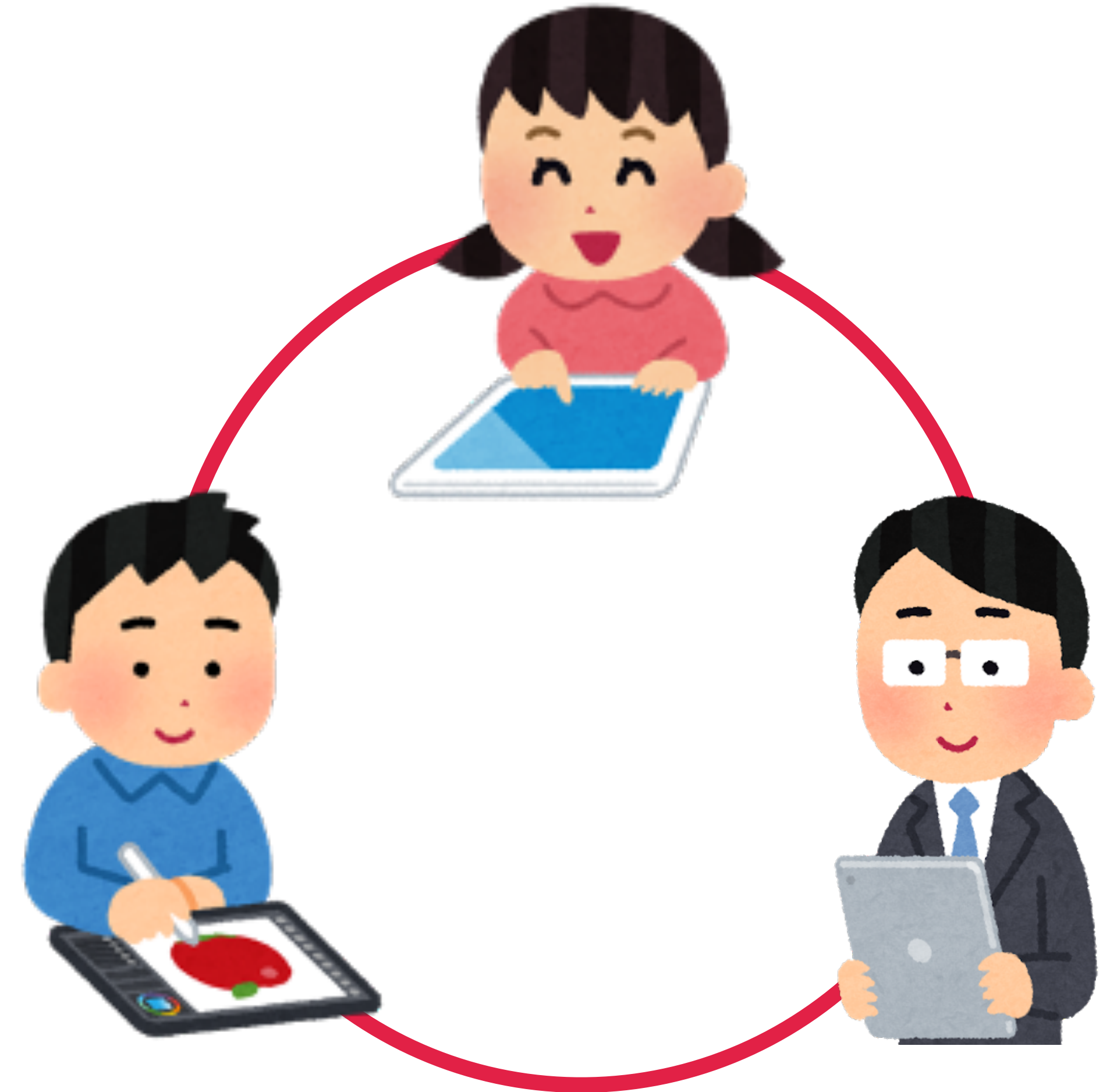


戻る

ステップ4 学習課題の提出と子ども同士での学び合い

ステップ3 + 提出されたものをもとに子ども同士の学び合い、教え合いができる

- 子どもがスマートフォン・タブレット・PC等を使って取り組む。
- 決められた時間に担任（教科担任）から出された課題に取り組む。
- 決められた時間に、数枚のカード、写真カード等を提出する。
- 子ども同士の情報共有、担任（教科担任）とやりとりが可能。
- 子ども同士がカードを送り合い、学び合うことも可能。自由な時間に子ども同士でわからないところを教え合うことも可能。



戻る

ステップ5 ビデオ会議の活用・発表

ステップ4 + 子どもがZoom等を使って学んだこと、まとめたことを発表することができる

- ・ ステップ4に課題を出したり、意見を発表する場面でZoom（ビデオ会議）を活用。
 - ・ 子どもがロイロノートの思考ツールやプレゼンテーションでまとめたものを発表することができる。
- 教室での発表と同じような形式で発表することができる。



Zoomを安全に使うために→

戻る

Zoomを安全に使うために

Zoomは最新バージョンを使用しましょう。

次の点に気をつけると安全に使うことができます。

1 ミーティングIDやパスワードを公開しない、教えない。

2 個別ミーティングIDにパスワードをかける。

- ・英数10文字
- ・大文字、小文字を混ぜるとさらに安全

3 「詳細」 → 「ミーティング設定」 でセキュリティを高める。

【必須】

- ① 「待合室」をオン（緑） → 先生の許可がないとミーティングに参加できなくなります。
- ② 「画面の共有」はオフ（白） → 参加者から画面を見せたり写真を見せたりできなくなります。
- ③ 「チャット対象」は「該当者なし」か「ホストのみ」 → チャットができなくなるか先生とのみになります。

【状況に応じて】

- ④ 「ミーティングのロック」は必要に応じてオン（緑） → ロック後の参加ができなくなります。
- ⑤ 「参加者」から参加者をタップして「待合室に送る」か「削除」 → ミーティングから退室させることができます。
「削除」すると再度参加はできなくなります。

【詳細】メニュー



①「詳細」をタップ

②「ミーティング設定」をタップ

ミーティング設定



【参加者】メニュー



※Zoom を終わるときは、必ず「会議を終了」を押す。

戻る